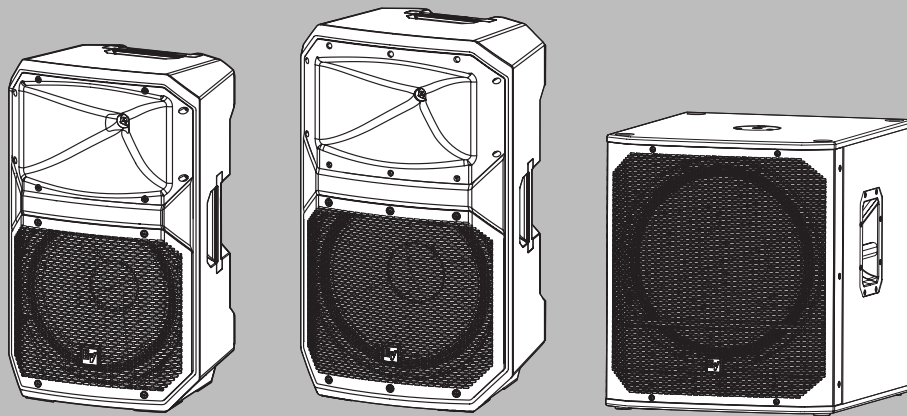


EVIVA powered speakers and subwoofer

EVIVA12P, EVIVA15P, EVIVA18SP







目次

1	安全性	4
1.1	安全に関する重要事項	4
1.2	ご注意	6
1.3	吊り下げ	6
2	製品登録	8
3	概要情報	9
3.1	付属部品	9
4	製品説明	11
4.1	アクセサリ	12
5	クイックセットアップ	13
6	ワイヤレスストリーミング	14
7	スタンド、ポールマウント、およびフロアモニターの操作	15
7.1	スタンドまたはポールマウントへの設置	15
7.2	フロアモニター	16
8	アンプ DSP コントロール	17
9	推奨構成	22
9.1	複数のスピーカーを使った講演会	22
9.2	Bluetooth ストリーミングの STEREO 構成	23
9.3	モニターとしてのフルレンジ システムの使用	25
9.4	サブウーハーとのフルレンジシステムのスタック	26
10	トラブルシューティング	27
11	テクニカル データ	29
12	付録	34
12.1	保証情報	34
12.2	規制情報	34
12.2.1	オープンソースソフトウェアのライセンス	34
12.2.2	注意事項	34

1 安全性

1.1 安全に関する重要事項

 <p>警告： 火災や感電の危険性を避けるため、本機器を雨や水蒸気の当たる場所に置かないでください。</p> <p>AVIS: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE, NE PAS OUVRIR.</p> <p>警告： 電源プラグまたは AC コンセントが遮断装置として使用されます。遮断装置はすぐに操作可能な状態を保ちます。</p> <p>警告： 保護アースが接続された電源ソケットにのみ接続してください。</p> <p>警告： 感電の危険性を避けるため、カバー(および背面)は外さないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。修理については、弊社販売代理店に確認してください。</p>	 <p>正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「危険電圧」が存在し、感電の危険があることを警告するものです。</p>
	 <p>正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守(整備)の重要な指示への注意を喚起するものです。</p>
	 <p>正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取外しの指示を知らせるものです。</p>

- この安全に関する重要事項をよくお読みになり、大切に保管してください。すべての重要事項を遵守し、すべての警告に留意してください。
- 該当する設置マニュアルの最新バージョンを www.electrovoice.com からダウンロードして、設置手順をご確認ください。



情報

重要事項については設置マニュアルをご覧ください。

- すべての設置手順を遵守し、以下の警告表示に従ってください。



注記!

追加情報が含まれています。通常は、通知の内容に従わなかったとしても、機器の破損や人的被害は起こりません。



注意!

この警告に従わないと、機器 / 資産の破損や人的被害が起きることがあります。



危険!

電気ショックの危険。

- 清掃には乾いた布を使用してください。** - 清掃の前に機器を電源から外します。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。

5. **結露** - 結露を避けるため、寒い場所から暖かい場所に運んだ場合は、機器の電源を入れるまで数時間お待ちください。
6. 機器には水滴や水しぶきがかからないようにしてください。また、機器の上には花瓶など液体が入った物を置かないでください。

**危険!**

火災や感電の危険を避けるため、本装置を雨や湿気にさらさないようにしてください。

7. **換気口をふさがないでください。メーカーの説明書に従って設置してください。**-機器の正常な機能動作を確保し、過熱から保護するために、筐体（存在する場合）には換気を目的とした通気口が設けられています。これらの通気口はふさいだり覆ったりしないでください。適切に換気ができない場合、またはメーカーからの重要事項を遵守できない場合、この機器を組み込んで設置しないでください。
8. ラジエータ、蓄熱機器、ストーブ、またはその他の発熱する機器（アンプなど）の近くや、直射日光の下に設置しないでください。
9. 火のついた口ウソクなど、直火の熱源を装置の上に置かないでください。
10. **電源コードのオプション:**
 - **電源プラグ**
 - 安全機関に登録されている 3 ピン電源プラグを使用してください。
 - EN 50075/IEC 60083規格C5 (シンガポールの消費者保護 (安全要件) 登録制度情報の付録 S に記載) の認証を受けた¹、2 ピン電源プラグを使用してください。
 - **フレキシブルコード**
 - 関連するIEC規格の認定を受けた¹、二重絶縁フレキシブルコードを使用してください。
¹IECEE CB スキームのメンバーによって認定。
 - **アプライアンスコネクタ**
 - IEC 60320の認定を受けた¹、アプライアンスコネクタを使用してください。
¹IECEE CB スキームのメンバーによって認定。
11. **極性プラグやアース付きプラグにより安全性が考慮されていますが、正しい利用法に従って使用してください。**- 極性プラグには 2 つのブレードがあり、一方の幅が他方より広くなっています。アース付きプラグには 2 つのブレードと 1 つのアース棒端子(3 本目)があります。この幅の広いブレードや 3 本目の棒端子は、安全のために付けられています。付属ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事店に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
12. 主電源装置は、保護アース端子がついた電源コンセントに接続してください。電源供給可能な外部の電源プラグまたは全極型電源スイッチを取り付けてください。
13. 本装置を AC 電源から完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告! 感電を防止できるよう、システム設置前にはすべての電源からケーブルを抜いてください。

14. 雷が鳴り出した時や、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
15. 電源コードは踏まれたり、ねじ曲げられたりしないように保護してください。特に、プラグ、ソケットの周辺や機器からコードが出ている部分に注意が必要です。

**危険!**

過負荷 - 火災や感電の原因となるため、コンセントや延長コードに過剰な負荷をかけないでください。

16. **メーカー指定の付属品やアクセサリのみを使用してください。** - 機器を設置する際は、メーカーからの説明書にある手順に従い、メーカーが推奨する取り付け金具を使用して行ってください。
17. **メーカー指定の、または機器と同時販売のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみを使用してください。** - カートを使用する場合は、装置をカートに載せて移動中に転倒して、怪我をすることがないように注意してください。急停止や過度な力、または凹凸のある床面により、機器を載せたカートがひっくり返ることがあります。



注意!

本スピーカーについて、三脚の安全性は評価されていません。三脚スタンドの仕様を参照し、本スピーカーの重量に耐えられることを確認してください。

18. システムの設置および保守整備は必ず有資格者が行い、地域の該当規定を遵守する必要があります。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。
19. 2 m を超えた高さに装置を取り付けると、落下時に怪我をすることがあります。必ず予防措置を講じてください。
20. **交換部品** - 部品の交換が必要になった場合は、サービス技術員がメーカー指定の交換部品、または元の部品と同じ特性を持った部品を使用したことを確認してください。承認されていない部品を使用すると、火災、感電、その他の事故が発生する可能性があります。
21. 電源のヒューズは、必ず同じ種類のヒューズと交換してください。
22. **安全点検** - 機器の保守または修理が完了したら、機器が正しい状態で操作できることを確認するために、サービス技術員に安全点検を依頼してください。

1.2

ご注意

- Electro-Voice 晴れた日に屋外でスピーカーを使用する場合は、日陰または覆いのある場所に配置してください。本スピーカーのアンプには、温度が非常に高くなったときに本スピーカーの電源を一時的にオフにする保護回路が内蔵されています。本スピーカーを直射日光に当てると、この動作が発生する可能性があります。
- Electro-Voice スピーカーは、0°C (32°F) 以下または +35°C (95°F) を超える環境で使用しないでください。
- Electro-Voice スピーカーは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長時間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。聴覚に損傷を与えるのを避けるため、大きな音量で長時間聴かないでください。

1.3

吊り下げ



警告!

物を吊り下げるといことは危険を伴うことなので、その作業は、必ず、頭上取り付け装具の技術と規則について詳細な知識を持つ人が行う必要があります。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、すべての最新の法律や規制を考慮することを強く推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。Electro-Voice では、スピーカーを吊り下げる場合、最低年 1 回のまたは法律や規制で定められた頻度でのシステム点検を推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。Electro-Voice 社製以外のスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に責任があります。

**警告!**

このマニュアルまたは Electro-Voice 設置ガイドに明確に説明されている以外の方法でこの製品を吊り下げないでください。(スピーカーの)天井への取り付け工事は危険な場合があるため、頭上に機器を設置する技術、部品、規制に関する十分な知識を持つ担当者だけが実施するようにしてください。Electro-Voice スピーカーは、Electro-Voice マニュアルおよび設置ガイドに記載されているアクセサリおよびハードウェアを使用してのみ吊り下げることができます。ハンドルを使ってスピーカーを吊り下げないでください。Electro-Voice スピーカーのハンドルは、一時的な搬送でのみ使用するよう設計されています。ファイバロープ、ワイヤロープ、ケーブル、その他のものをハンドルに取り付けてラウドスピーカーを吊り下げることができません。Electro-Voice 社製以外のスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に支給の責任があります。

**警告!**

未認証のアクセサリや付属品を、本製品を含む Electro-Voice 製品とともに使用する行為については、ユーザー自身が責任を負うものとします。未認証のアクセサリや付属品を使用した場合、製品の誤作動や死傷事故を招く可能性があります。ユーザー自身がすべての責任を負うものとし、保証が無効になる場合があります。

2

製品登録



EVIVA を以下のサイトで登録してください: electrovoice.com/register

3 概要情報

このドキュメントは次の製品に適用されます。

CTN	製品説明
EVIVA12P-US	12 インチ 2 Way パワードスピーカー、USコード
EVIVA15P-US	15 インチ 2 Way パワードスピーカー、USコード
EVIVA18SP-US	18 インチパワードサブウーファー、USコード
EVIVA12P-EU	12 インチ 2 Way パワードスピーカー、EUコード
EVIVA15P-EU	15 インチ 2 Way パワードスピーカー、EUコード
EVIVA18SP-EU	18 インチパワードサブウーファー、EUコード
EVIVA12P-BR	12 インチ 2 Way パワードスピーカー、BRコード
EVIVA15P-BR	15 インチ 2 Way パワードスピーカー、BRコード
EVIVA18SP-BR	18 インチパワードサブウーファー、BRコード
EVIVA12P-IN	12 インチ 2 Way パワードスピーカー、INコード
EVIVA15P-IN	15 インチ 2 Way パワードスピーカー、INコード
EVIVA18SP-IN	18 インチパワードサブウーファー、INコード
EVIVA12P-VN	12 インチ 2 ウェイ パワード スピーカー、ベトナム
EVIVA15P-VN	15 インチ 2 ウェイ パワード スピーカー、ベトナム
EVIVA18SP-VN	18 インチ パワード サブウーファー、ベトナム
EVIVA12P-NC	12 インチ 2 Way パワードスピーカー、コードなし
EVIVA15P-NC	15 インチ 2 Way パワードスピーカー、コードなし
EVIVA18SP-NC	18 インチパワードサブウーファー、コードなし

3.1 付属部品

すべての部品が揃っていて、損傷していないことを確認してください。梱包や部品が破損している場合は、配送業者にお問い合わせください。部品が不足している場合は、営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

EVIVA 12P および EVIVA 15P

数量	梱包品
1	パワード スピーカー
1 ¹	電源ケーブル ¹
1	クイックユーザーガイド
2	安全・セキュリティに関する情報

¹ EVIVA12P-NC および EVIVA15P-NC には付属していません

EVIVA 18SP

数量	梱包品
1	パワード サブウーハー
1 ¹	電源ケーブル ¹
1	クイックユーザーガイド
2	安全・セキュリティに関する情報

¹ EVIVA18SP-NC には付属していません

4

製品説明

Electro-Voice ポータブルスピーカーシステムをご購入いただき、ありがとうございます。本書をお読みにになり、EV スピーカーシステムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。EVIVA ポータブル パワード スピーカー ファミリーは、DJ、ミュージシャン、礼拝所、小規模会場、制作会社やレンタル会社に最適なプロフェッショナル パフォーマンスを備えています。迅速な導入ができるように設計されており、EVIVA の優れた操作性のコントロールと簡単な接続、軽量設計と迅速なセットアッププロセスが組み合わさり、1 人ですばやくセットアップできます。EVIVA は、軽量複合エンクロージャに収められた 12 インチおよび 15 インチ 2 ウェイスピーカーと、塗装された合板エンクロージャに収められた 18 インチ サブウーファー 1 台で構成されています。

高出力および拡張周波数応答

このファミリーは、パフォーマンス重視のポータブル パワード スピーカーとしてクラス最高のパフォーマンスを発揮します。フルレンジ スピーカーには、Electro-Voice の特許取得済み SST (信号同期トランスデューサー) とカスタム設計の高エネルギー ネオジウム HF コンプレッション ドライバーが搭載されています。この組み合わせにより、高出力と最大 20 kHz の拡張周波数応答が実現します。低音拡張用の SST スプリット バッフルは、50 Hz (EVIVA 12P) および 45 Hz (EVIVA 15P) までの低音域を再生します。サブウーファーには、歪みが少なく、低音を 38 Hz まで拡張できる大きなスロット ポートが搭載されています。

EVIVA 12P と EVIVA 15P はどちらも 90° x 60° (水平 x 垂直) のカバレッジ パターンを提供し、観客エリア全体にクリアで均一なサウンドを提供します。12 インチ EVIVA 12P の最大 SPL は 125 dB ですが、15 インチ EVIVA 15P の最大 SPL はさらに高く、126 dB です。低域を補完するのは、最大 SPL 132 dB の EVIVA 18SP です。

柔軟で迅速なセットアップ

EVIVA には、業界標準の接続性が備わっているため、どのようなライブでも迅速にセットアップできます。フルレンジ スピーカーは、2 つの XLR/TRS コンポ ジャック マイク/ライン入力、XLR ミックス出力、およびモノ/ステレオ出力を切り替えられる Bluetooth® オーディオ ストリーミングが搭載されています。サブウーファーには、2 つの XLR/TRS コンポ ジャック ライン入力、2 つの XLR パススルー出力、切り替え可能なローパス周波数、および反転可能な極性が搭載されています。

これらのモデルには、1000 W アンプと 2 チャンネル アナログ入力セクションが備わっています。直感的なコントロール パネルには、 $-\infty$ (ミュート) から +40 dB (EVIVA 12P および EVIVA 15P) までのレベル調整用ゲインノブ、モード変更 (MUSIC と LIVE) 用のスイッチ、および 2 色の入力信号計測とピーク検出機能が備わっています。

EVIVA には、ユニバーサル主電源入力 100 - 240 V 自動切り替えを備えた IEC 主電源入力を介して電力が供給されます。付属の電源コードは地域によって異なります。

堅牢なモダン ヘリテージ デザイン

このスピーカー ファミリーでは、Electro-Voice の工業デザインとシンプルなセットアップ プロセスも採用されており、ユーザーはシステムを最大限に活用し、より早く作業を進めることができます。このスピーカーは、Sx シリーズのオープン ホーンの美学と ZLX-G2 のバックボーン スパイン エンクロージャが採用された、スタイリッシュで堅牢なモダン ヘリテージ デザインが特徴です。サブウーファーには、耐久性のある全体が金属製のハンドルと積み重ね用の連結脚が付いています。

アクセサリと携帯性

BRKT-POLE-L 壁掛けブラケットや TSS-1/TSP-1 三脚スピーカースタンドなどの Electro-Voice アクセサリは、EVIVA スピーカーと互換性があります。PCL35、PCL 880 (どちらも一部の国でのみ利用可能)、および ASP-58 ポール アクセサリは、サブウーファアの M20 ネジ式マウントに適合します。

EVIVA は簡単に持ち運びできます。スピーカーの積み込み、運搬、荷降ろしを 1 人で行うことができます。既存の EVERSE-DUFFEL アクセサリは、EVIVA12P スピーカーと互換性があります。

4.1

アクセサリ

EVIVA ファミリーには、厳選されたアクセサリが含まれています。

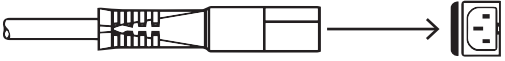
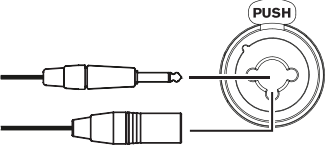
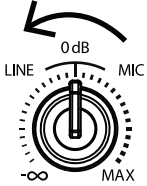
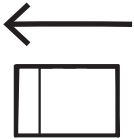
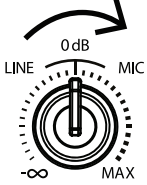

アクセサリはすべて別売りです。

CTN	製品説明
BRKT-POLE-L	BRKT-POLE-L 壁面取付用ブラケット、12 インチ、15 インチ 2 ウェイ スピーカー
TSP-1	EV 三脚スタンド パッケージ
TSS-1	EV 三脚スタンド、三脚スタンド 1 台
EVERSE-DUFFEL	EVERSE 用パッド付きダッフルバッグ
PCL35	スピーカー ポール、35mm、M20 ネジ
PCL 880	880mm サブウーファア スタンド
ASP-58	調整可能サブウーファア スタンド

- **BRKT-POLE-L 壁面取り付け用ブラケット** - EVIVA 12P と EVIVA 15P の両方を壁に取り付けるためのブラケット。垂直方向の傾斜と水平方向のパン調整が可能です。最大下向き傾斜は 30°、最大上向き傾斜は 5° で、スピーカーによって異なります。
- **TSP-1/TSS-1 三脚スタンド** - EVIVA 12P と EVIVA 15P の両方に使用できる軽量アルミ三脚スピーカー スタンド。高さは 1.12 m から 2.0 m まで調節でき、最大 54.4kg の耐荷重があります。ロックピンがスピーカーをしっかりと支え、滑り止めゴム足付きの幅広ベースが安定性を高めます。バッグ付きペア (TSP-1) または単体 (TSS-1) で提供されます。
- **EVERSE-DUFFEL パッド入りダッフル バッグ** - ハンドルとショルダー ストラップが付いた、EVIVA 12P 専用パッド入りダッフル バッグ。ダッフルにはポケット 2 つと内部の仕切りが付いています。スピーカー 1 台、ワイヤレス マイク レシーバーとマイク、XLR ケーブル、電源コード、モバイル デバイスを収容できます。
- **PCL35 スピーカー ポール** - EVIVA 18SP に使用する M20 ネジ式マウント高さ固定スピーカーポール。固定された高さは 880 mm です。一部の国でのみご利用いただけます。
- **PCL 880 サブウーファア スタンド** - EVIVA 18SP に使用する M20 ネジ式マウント高さ固定サブウーファア スタンド。固定された高さは 880 mm です。一部の国でのみご利用いただけます。
- **ASP-58 調整可能サブウーファア スタンド** - EVIVA 18SP に使用する M20 ネジ付きマウントポール。高さは 935 mm から 1460 mm まで 175 mm 刻みで調節でき、最大重量は 45.4 kg です。スプリング式ボルトとロック ネジでポールの高さを固定します。

5 クイックセットアップ

Electro-VoiceのEVIVAシリーズスピーカーは、入念にバランスを考えて設計された電子回路とトランスデューサが完全に統合されたオーディオシステムです。これらの製品は、最小限の外部機器やケーブルで高品質サウンドシステムをすばやく容易にセットアップできます。

手順	説明図
1. AC 電源コードをアース付きコンセントとシステムの MAINS IN .	
2. オーディオ装置からの XLR または TRS ケーブルを INPUT 1 または INPUT 2 に接続します。	
3. 入力ゲインを $-\infty$ (ミュート) に調整します。	
4. 電源スイッチを ON .	
5. 入力ゲインを適度な信号レベルまで上げます。 SIG / PEAK インジケータが赤に変わった場合、対応する入力レベルコントロールを下げます。	
6. 信号のピークが MASTER VOLUME コントロール ノブを目的の音量に調整します。 LIMIT インジケータに注意してください。	

6 ワイヤレスストリーミング

EVIVA12P および EVIVA15P モデルでは、以下の手順に従ってすばやく正確にペアリングし、Bluetooth® が利用可能なモバイル デバイスからのワイヤレス ストリーミングをシステム調整します。

ペアリング前:

- ▶ モバイル デバイスで Bluetooth® が有効になっていることを確認します。

ワイヤレス ストリーミング用にシステムをペアリングするには:

1. MASTER **MASTER VOLUME** ノブを回して、出力ゲイン レベルを $-\infty$ (ミュート) まで下げます。
2. ペアリング モードにするには、**PUSH & HOLD TO PAIR** ボタンを 3 秒以上押し続けます。ペアリング モード中は、Bluetooth インジケータが点滅します。
3. モバイル デバイスで、Bluetooth メニューに移動し、検出されたデバイスのリストから EVIVA 12P または EVIVA 15P を選択します。



注記!

各スピーカーには、モデル名の後に 4 桁の固有識別子が付与されています。この 4 桁の固有識別子 (Bluetooth ID) は、スピーカー背面の白いラベルに記載されています。

- ▶ 接続が確立されると、Bluetooth インジケータが点灯します。

ゲイン構成

システムによってモバイルデバイスにペアリングした後、ストリーミング機器のボリュームを設定することができます。

ストリーミング デバイスの音量を設定するには:

1. スピーカーの出力ゲインを $-\infty$ (ミュート) に設定します。
2. 希望のプレイヤー/ソースから音楽の再生を開始します。
3. デバイスの音量を少なくとも 75% まで上げます。
4. MASTER **MASTER VOLUME** コントロール ノブを使用して、出力ゲインを目的のリスニング レベルまで上げます。
LIMIT インジケータに注意してください。
5. 適当な音声コントロールのためデバイスのレベルを下げてください (オプション)。

7 スタンド、ポールマウント、およびフロアモニターの操作

**注意!**

重量があるスピーカーは、2人以上で持ち上げて設置することを推奨します。スピーカーが重い場合に、1人で持ち上げや配置を行うと怪我をする恐れがあります。

**注意!**

他のスピーカーを積み重ねないでください。

7.1 スタンドまたはポールマウントへの設置

EVIVA ポータブルスピーカーを、スタンドまたはサブウーハーの上にあるポールに取り付けます。

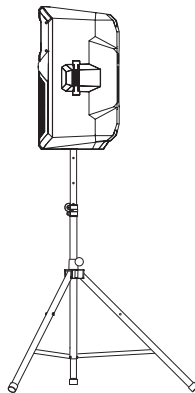
スタンドへの取り付け

**注意!**

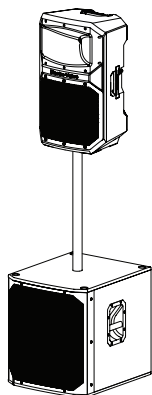
本スピーカーについて、三脚の安全性は評価されていません。三脚スタンドの仕様を参照し、本スピーカーの重量に耐えられることを確認してください。

スピーカーをスタンドに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. スタンドを安定した面に置きます。
 - スタンドの脚を完全に伸ばします。
 - スタンドを「さらに高く」するなど、その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
 - 1台用のスピーカースタンドに複数のスピーカーを取り付けしないでください。
2. スピーカーを両手で持ち上げます。
3. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。



スピーカーをポールに取り付ける



スピーカーをポールに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. サブウーハーを安定した場所に置きます。
2. サブウーハー上部のポール カップにポールを挿入します。
ネジ付きポール マウントを使用する場合、ポールを時計回りに回してサブウーハーに固定します。
3. スピーカーを両手で持ち上げます。
4. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。

7.2

フロアモニター

EVIVA スピーカーは、1 台の一体型モニターの角度で配置することによってフロア モニターとして使用できます。

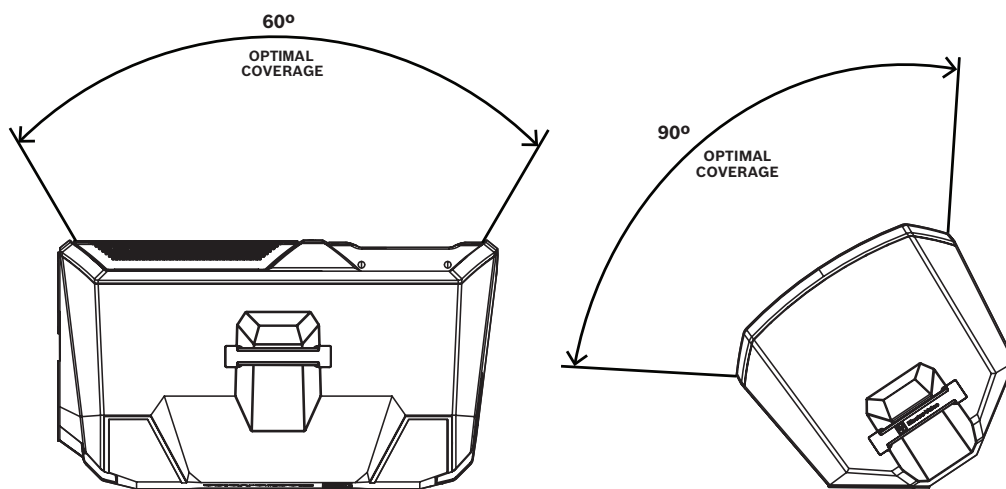
スピーカーをフロアモニターとして設定する方法：

1. スピーカーを安定した面に置きます。
2. 出演者、製作スタッフ、聴衆がケーブルにつまずかないよう、ケーブルを安全に配線します。



注記!

可能な場合はいつでも、ワイヤータイやテープでケーブルを固定してください。



8 アンプ DSP コントロール

フルレンジ スピーカーの入カパネル

フルレンジ スピーカー DSP コントロール メニューの選択項目は、EVIVA スピーカーで使用できません。

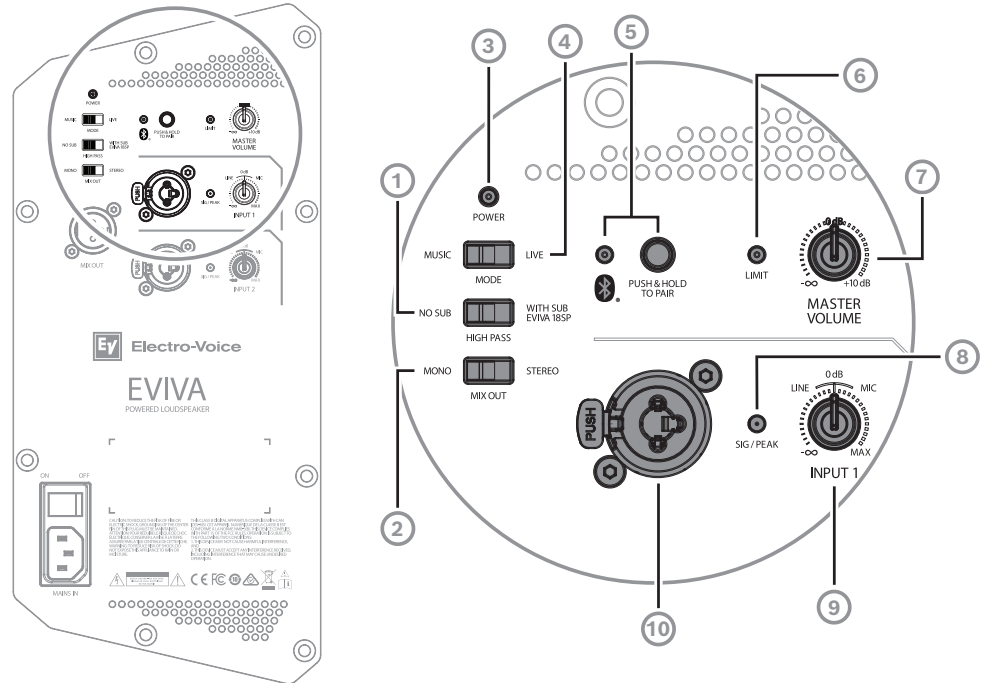


図 8.1: フルレンジ スピーカー入カパネル、セクション 1/3

- HIGH PASS** 選択スイッチ - システム構成に基づいてスピーカーから出力されるサウンドを調整するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
 - NO SUB** - サブウーファーなしのフルレンジ用途に使用します。
 - WITH SUB EVIVA 18SP** - サブウーファーのある用途に使用します。クロスオーバー周波数は、100 Hz です。
- MIX OUT** 選択スイッチ - Bluetooth 対応デバイスに接続したときにスピーカーから出力されるサウンドを設定するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
 - MONO** - スピーカーは左右の BT チャンネルのモノラル サムを再生し、XLR MIX OUT も左右の BT チャンネルのモノラル サムを送信します。
 - STEREO** - スピーカーは左の BT チャンネルを再生し、XLR MIX OUT は右の BT チャンネルを送信します。
- POWER** インジケータ - スピーカーのオン/オフを示すために使用されます。利用可能なオプションは次のとおりです。
 - POWER** インジケータが点灯 - スピーカーがオンになっています。
 - POWER** インジケータが消灯 - スピーカーがオフになっています。
- MODE** 選択スイッチ - スピーカーが出す音声の種類を構成するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
 - MUSIC** - DJ 向けに低周波を最大限に拡張した深みのある低音と、音楽の全帯域幅再生を実現します。
 - LIVE** - ライブ サウンドやギター モデリング用途で正確に再現する、自然でフラットな周波数応答。
- Bluetooth** インジケータと **PUSH & HOLD TO PAIR** ボタン - スピーカーを Bluetooth 対応デバイスに接続するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
 - Bluetooth** インジケータが消灯 - Bluetooth 接続がありません。

- Bluetooth** インジケータが点滅 - ペアリング モードになっています。
- Bluetooth** インジケータが点灯 - Bluetooth 接続が確立されています。
- LIMIT** インジケータ - 歪みを引き起こす可能性のある短時間のピークおよび長時間の過負荷からスピーカーを保護します。**LIMIT** インジケータが点灯しているときは、リミッターがアクティブです。
LIMIT インジケータが頻繁または継続的に点灯する:
出力音量を下げます (**MASTER VOLUME**)。強くお勧めします。
 - MASTER VOLUME** コントロール ノブ - 音量を調整します。**0 dB** 位置は、ユニティ ゲイン (増幅または減衰なし) です。
 - SIG / PEAK** インジケータ
SIG / PEAK インジケータが緑色に点灯 - スピーカーへの信号が正常範囲内です。
SIG / PEAK インジケータが赤色に点灯 - スピーカーへの信号が高すぎます。信号ピークにより入力がクリッピングされて過負荷状態になり、スピーカーへの信号が歪んでしまいます。
SIG / PEAK インジケータが赤色に点灯する:
対応する入力レベル コントロールを下げます。
 - INPUT 1** レベル コントロール ノブ - 個々の入力のレベルを調整し、 $-\infty$ (ミュート) から $+40$ dB までのゲイン調整を提供します。**0 dB** 位置は、ユニティ ゲイン (ゲインまたは減衰なし) です。ユニティの左側の範囲 (**0 dB**) はライン レベル ソースを調整するためのもので、ユニティの右側の範囲 (**0 dB**) はマイク レベルを調整するためのものです。**LINE** および **MIC** 入力レベル コントロールを使用できます。
 - INPUT 1** - ミキシング コンソール、楽器、マイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には $\frac{1}{4}$ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。

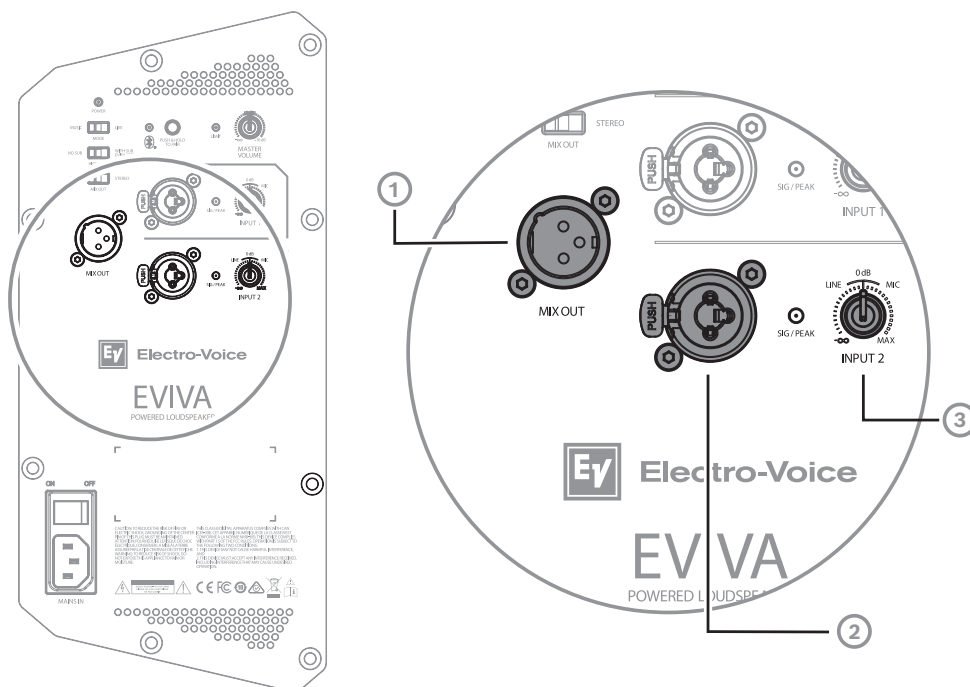


図 8.2: フルレンジスピーカー入力パネル、セクション 2/3

- MIX OUT** - すべての入力信号 (**INPUT 1**, **INPUT 2** または Bluetooth) のミックスを別のスピーカーまたはサブウーファーに送信するミックス出力 XLR。入力レベル コントロール ノブは、信号レベルを制御します **MIX OUT**。 **MASTER VOLUME** コントロール ノブは影響を与えません **MIX OUT**。
- INPUT 2** - ミキシング コンソール、楽器、マイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には $\frac{1}{4}$ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。

3. **INPUT 2 レベル コントロール ノブ** - 個々の入力のレベルを調整し、 $-\infty$ (ミュート) から +40 dB までのゲイン調整を提供します。0 dB 位置は、ユニティ ゲイン (増幅または減衰なし) です。ユニティの左側の範囲 (0 dB) はライン レベル ソースを調整するためのもので、ユニティの右側の範囲 (0 dB) はマイク レベルを調整するためのものです。LINE および MIC 入力レベル コントロールを使用できます。

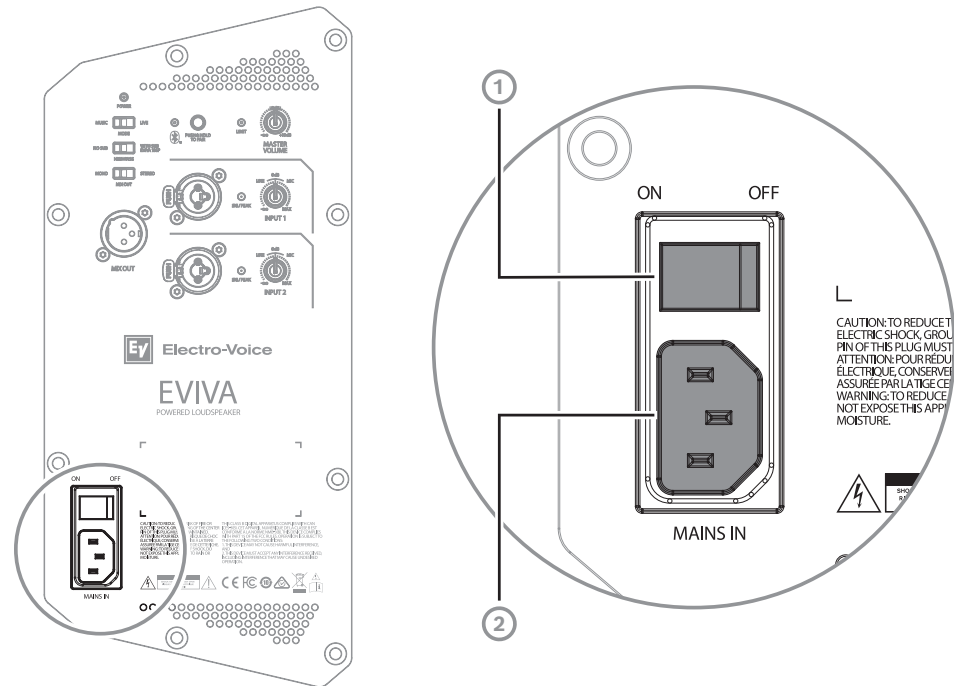


図 8.3: フルレンジ スピーカー入力パネル、セクション 3/3

1. **電源スイッチ**- 電源のオン/オフを切り替える AC スイッチです。オン (ON) またはオフ (OFF) 電源がオンになると、**POWER** インジケータが点灯します。
2. **MAINS IN** 入力 - AC 接続には IEC コネクタ付きケーブルを使用します。

サブウーファー入力パネル

サブウーハーに関する DSP コントロール メニューの選択項目は、EVIVA サブウーハーで使用できません。

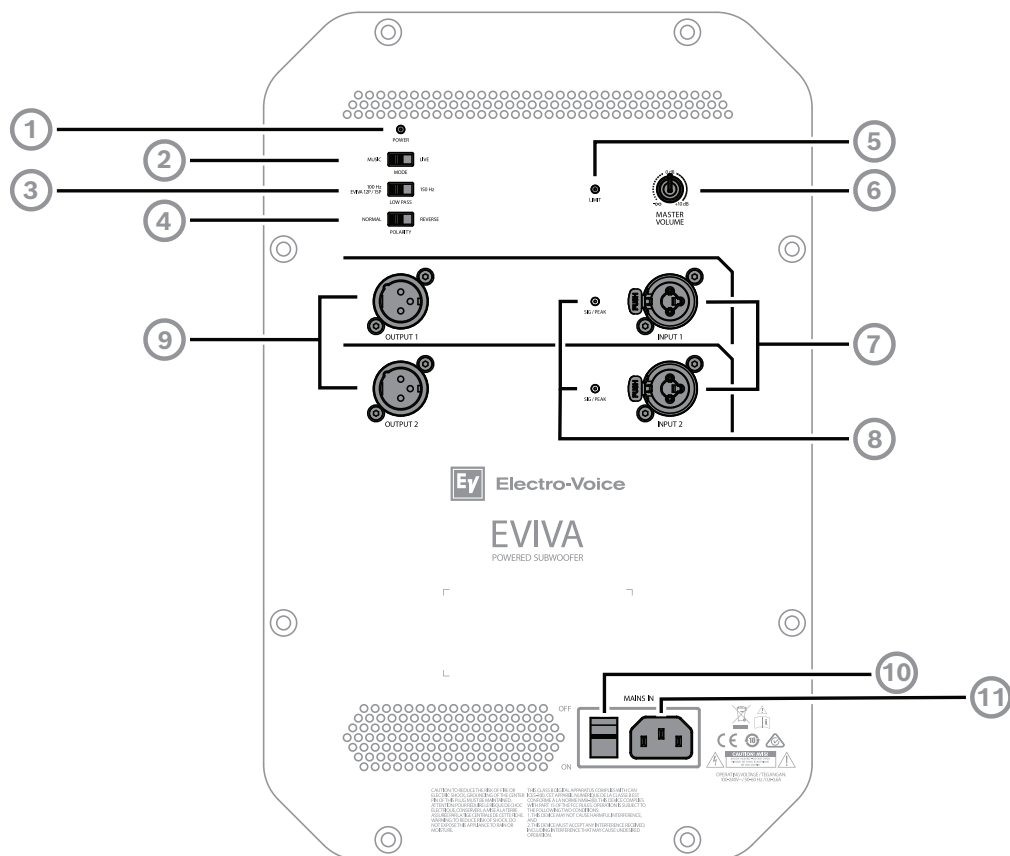


図 8.4: サブウーファー入カパネル

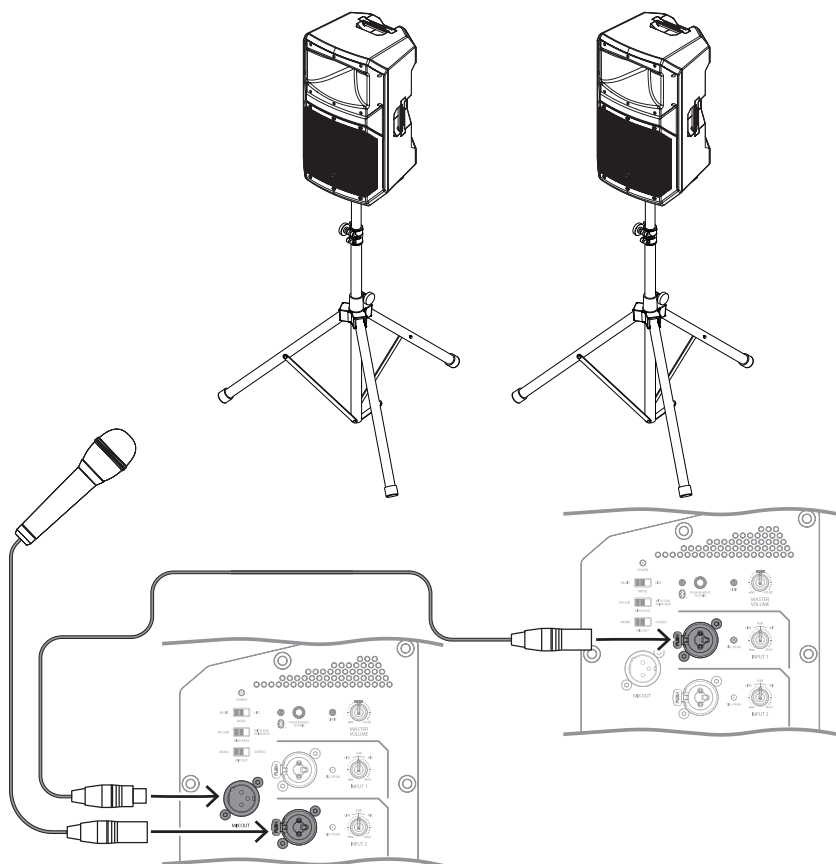
1. **POWER** インジケータ - スピーカーのオン/オフを示すために使用されます。利用可能なオプションは次のとおりです。
POWER インジケータが点灯 - スピーカーがオンになっています。
POWER インジケータが消灯 - スピーカーがオフになっています。
2. **MODE** 選択スイッチ - スピーカーが出す音声の種類を構成するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
MUSIC - DJ 向けに低周波を最大限に拡張した深みのある低音と、音楽の全帯域幅再生を実現します。
LIVE - ライブ サウンド用途に使用され、タイトでパンチの効いた出力により、打楽器や弦楽器のインパクトが最大限になります。
3. **LOW PASS** 選択スイッチ - システム構成に基づいてスピーカーから出力されるサウンドを調整するために使用します。利用可能なオプションは次のとおりです。
100 Hz EVIVA 12P / 15P - ほとんどの 10 インチ、12 インチ、または 15 インチのスピーカーで使用できます。EVIVA パワード スピーカー向けに特別に最適化されています。
150 Hz - 外部 DSP プロセッサを備えた 8 インチ スピーカーで使用するための一般的なローパス設定。
4. **POLARITY** 選択スイッチ - サブウーファーの性能をスピーカーに合わせるために使用されます。利用可能なオプションは次のとおりです。
NORMAL - サブウーハーへの正の信号により、正の音圧を生成します。ほとんどの状況に適した設定です。
REVERSE - サブウーハーへの正の信号により、負の音圧を生成します。Electro-Voice 以外のスピーカーを使用するカスタム用途用の設定。

5. **LIMIT** インジケータ - 歪みを引き起こす可能性のある短時間のピークおよび長時間の過負荷からスピーカーを保護します。**LIMIT** インジケータが点灯しているときは、リミッターがアクティブです。
LIMIT インジケータが頻繁または継続的に点灯する:
出力音量を下げます (**MASTER VOLUME**)、強くお勧めします。
6. **MASTER VOLUME** コントロール ノブ - 音量を調整します。**0 dB** 位置は、ユニティ ゲイン (増幅または減衰なし) です。
7. **INPUT 1** および **INPUT 2** - ミキシング コンソール、楽器、マイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には ¼ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。
8. **SIG / PEAK** インジケータ
SIG / PEAK インジケータが緑色に点灯 - スピーカーへの信号が正常範囲内です。
SIG / PEAK インジケータが赤色に点灯 - スピーカーへの信号が高すぎます。信号ピークにより入力がクリッピングされて過負荷状態になり、スピーカーへの信号が歪んでしまいます。
SIG / PEAK インジケータが赤色に点灯する:
対応する入力レベル コントロールを下げます。
9. **OUTPUT 1** および **OUTPUT 2** - 入力信号 (**INPUT 1** または **INPUT 2**) を別のスピーカーまたはサブウーファーに送信する XLR 出力。**INPUT 1** は **OUTPUT 1** に、**INPUT 2** は **OUTPUT 2** にリンクされています。**MASTER VOLUME** または **DSP コントロール** の設定を変えても **OUTPUT** に影響はありません。
10. **電源スイッチ** - 電源のオン/オフを切り替える AC スイッチです。オン (**ON**) またはオフ (**OFF**)。電源がオンになると、**POWER** インジケータが点灯します。
11. **MAINS IN** 入力 - AC 接続には IEC コネクタ付きケーブルを使用します。

9 推奨構成

9.1 複数のスピーカーを使った講演会

LINE および MIC オプションは、INPUT 1 および INPUT 2 レベル コントロール ノブ。0 dB 位置はユニティ ゲイン (増幅または減衰なし) であり、ゼロの右側の範囲はマイクのレベルを調整するためのものです。



注記!

矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	LIVE
HIGH PASS	WITH SUB EVIVA 18SP

表 9.1: 三脚に取り付けられたスピーカーの DSP 設定

9.2 Bluetooth ストリーミングの STEREO 構成

Bluetooth® を介したワイヤレス音声ストリーミングは、EVIVA スピーカーで利用可能です。この設定を使用して、2 台のスピーカーを接続し、Bluetooth® の入力信号を分配して、2 台のスピーカー間でステレオの音像を作成します。

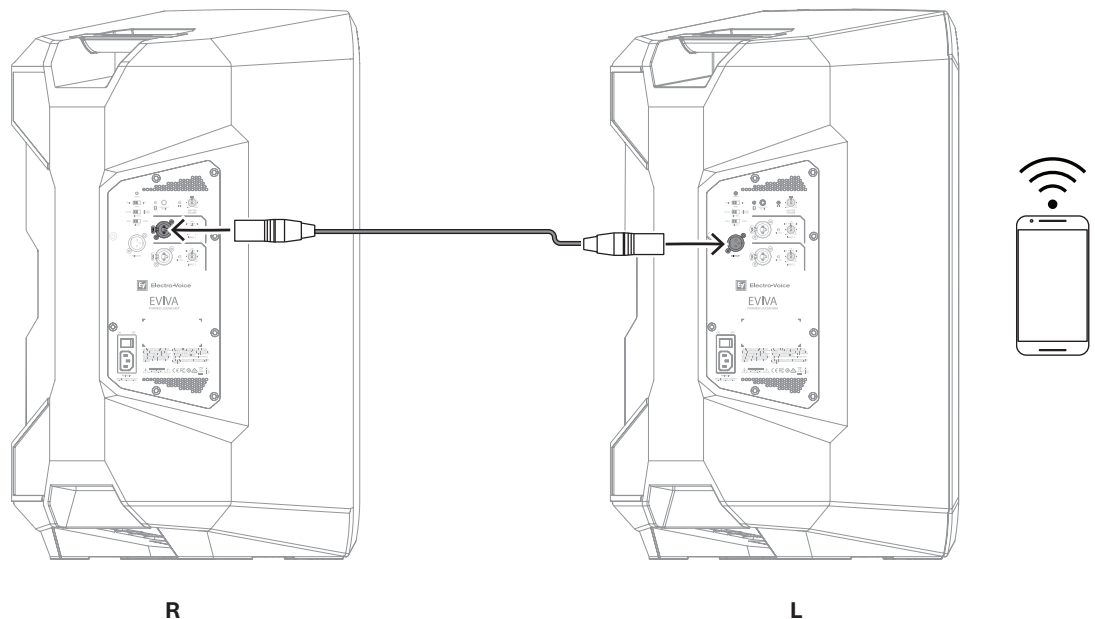
パラメータとモバイルデバイスのペアリングは左スピーカーで行います。



注記!

XLR MIX OUT ケーブルが必要です。

- ▶ 右スピーカーで、INPUT 1 レベル コントロール ノブを 0 dB に設定します。
MASTER VOLUME ノブが同じ位置にある場合、可聴レベルは左スピーカーと右スピーカーで一致します。



R	右側
L	左側



注記!

矢印の方向は信号経路を示します。

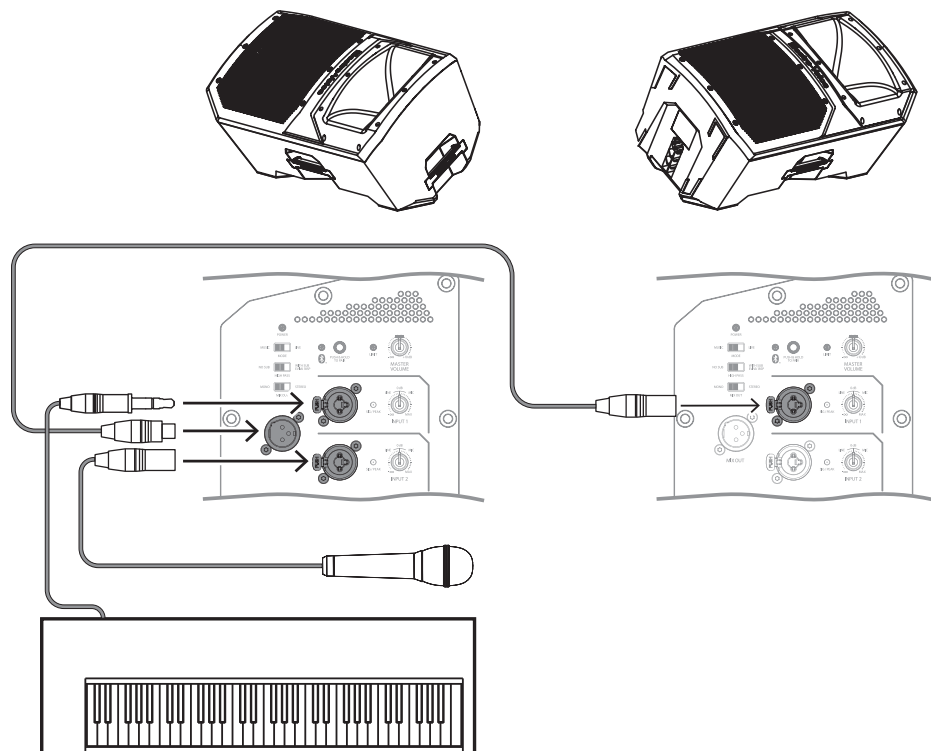
MODE	MUSIC
MIX OUT	STEREO

LOW PASS	NO SUB
----------	--------

表 9.2: BT STEREO ストリーミングの DSP 設定

9.3 モニターとしてのフルレンジ システムの使用

LINE および MIC オプションは、INPUT 1 および INPUT 2 レベル コントロール ノブ。0 dB 位置はユニティ ゲイン (増幅または減衰なし) であり、ゼロの右側の範囲はマイクのレベルを調整するためのものです。



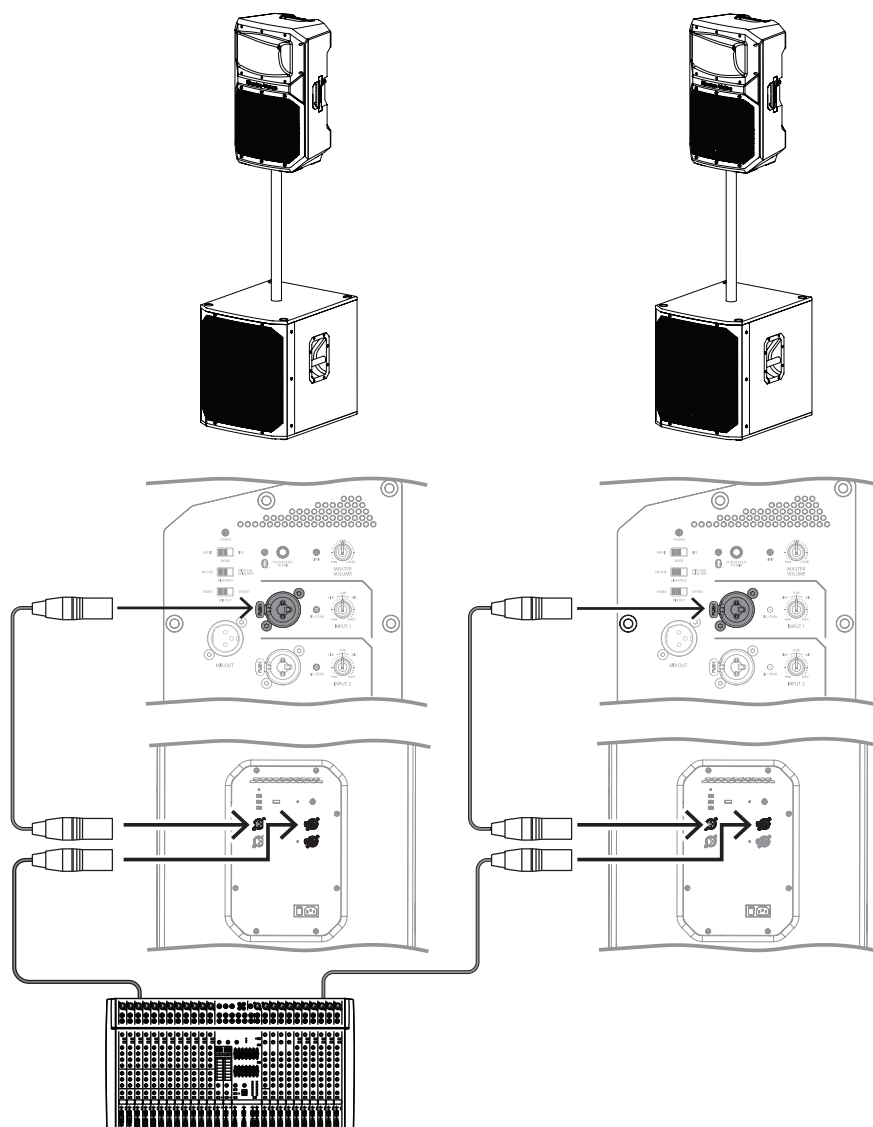
注記!

矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	LIVE
HIGH PASS	NO SUB

表 9.3: モニターとして使用するスピーカーの DSP 設定

9.4 サブウーハーとのフルレンジシステムのスタック



注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

EVIVA12P または EVIVA15P	
MODE	MUSIC または LIVE (ユーザー設定)
HIGH PASS	WITH SUB EVIVA 18SP
EVIVA18SP	
MODE	MUSIC または LIVE (ユーザー設定)
LOW PASS	100 Hz EVIVA 12P / 15P

表 9.4: スタックされたスピーカーとサブウーハーの DSP 設定

10 トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音が出ない	アンプ	電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要に応じて修正/修理/交換してください。それでも音が聞こえない場合は、配線に問題がある可能性があります。
	配線	アンプに正しいケーブルを接続したことを確認します。アンプを通して何か音楽を小さな音量で再生します。テスト用スピーカーを、故障しているラインと並列に接続します。サウンドレベルが消えている、または非常に弱い場合、ショートしています。問題が解決するまで、テスト用スピーカーを使用し、ラインを移動して各接続 / 接続部のテストをします。極性が正しいかも確認してください。
2. 低域特性が不十分	WITH SUB EVIVA 18SP クロスオーバー周波数がアクティブになっている	システムとともにサブウーハーが使用されていない場合は、 NO SUB 位置を選択します。
3. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
4. ブーツ、シューツ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。
	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
5. INPUT 1 または INPUT 2 に接続されたマイクの音が出ない	マイクにファンタム電源が必要です。	ファンタム電源を必要としないダイナミックマイクを使用してください。ファンタム電源が必要なマイクを使用する場合は、外部ファンタム電源が必要です。
	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
6. 音が歪む。SIG/ PEAK または LIMIT が点灯する	入力レベルが高すぎる	PEAK または LIMIT を避けるために入力レベルまたはスピーカーのレベル ノブを下げます。
	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力 (ミキシングコンソール/プリアンプ) が暴走している	ソースのレベル コントロールが適切に構成されていることを確認します。SIG / PEAK インジケータが点灯している場合、入力またはソース レベルが高すぎます。

症状	考えられる原因	対応策
7. 入力レベルを増幅したときにマイクがハウリングを起こす	ゲイン構造が正しくない	ミキシングコンソールまたは入力ソースのマイクレベルを下げます。マイクがスピーカーに直接接続されている場合は、スピーカーの入力レベルを下げます。マイクを音源の近くに置くと、フィードバック前のゲインが増加します。問題 6 を参照してください。
	MODE が次のように設定されている MUSIC	変更MODE ->LIVE.
	マイクの位置がスピーカー前面に近すぎる	可能な限り、スピーカーがマイクより前にくるようにセットアップしてください。スピーカーをモニタ位置で使う場合は、スピーカーをマイク背面に向けて下さい。
8. ストリーミング音声がない	モバイルデバイスが誤ったスピーカーにペアリングされている	以前に異なる Bluetooth® 対応スピーカーにペアリングしている場合、誤ったスピーカーがペアリングされている可能性があります。保存された接続をすべて削除し、ペアリングの手順を再度実行してください。
	入力レベルが低すぎる	音楽を再生中に、ペアリングされたモバイルデバイスの音量を上げてください。
	出力ゲインが低すぎる	出力ゲインを上げます。そのためには、 MASTER VOLUME ノブでレベルを設定します。その際、 LIMIT インジケータに注意してください。
9. ストリーミング音声 が飛んだり詰まったりする	ペアリングされたモバイルデバイスがスピーカーから離れすぎている	モバイルデバイスをスピーカーの近くに移動させます。
	使用しているエリアに干渉が多い。	Bluetooth® が利用可能な本スピーカーは、その他の Bluetooth® および Wi-Fi その他のワイヤレス伝送デバイス（家庭用ワイヤレス電話など）と同じ動作周波数を占めています。ドロップアウトが発生する場合、確実なワイヤレス音声を困難にする環境にスピーカーがおかれている可能性があります。スピーカーを室内の別の場所、特に 2.4 GHz ルーターおよびマイク受信機から離れたところに移動してください。問題が解決しない場合には、その場所では有線接続に戻してご利用ください。

上記の対策を講じても問題を解決できない場合は、購入元の Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

11 テクニカル データ

EVIVA12P

1) MUSIC DSP プリセットを使用したフルスペース測定。

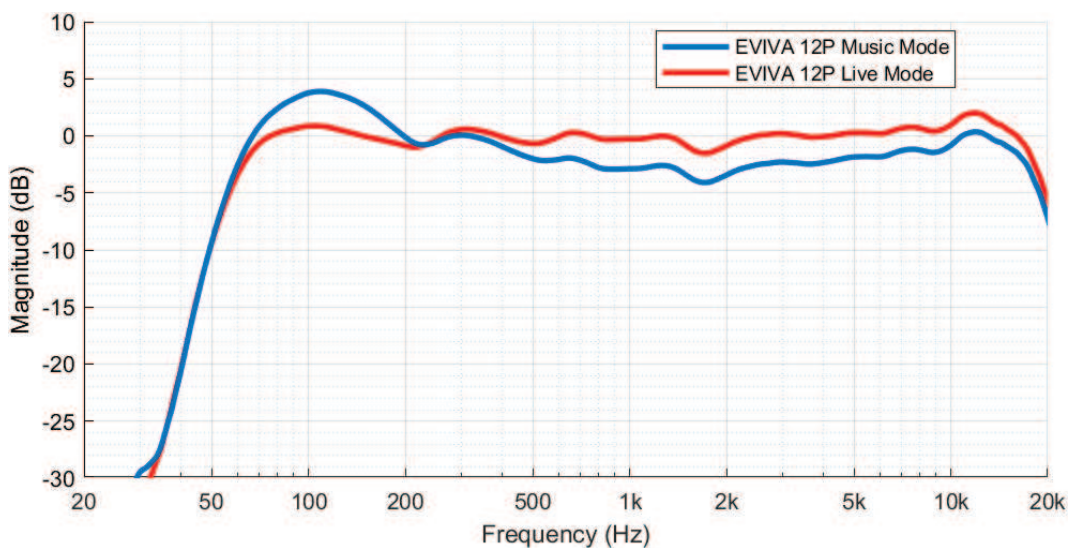
2) LIVE DSP プリセットを使用したフルスペース測定。

3) 最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1 メートル離れた場所で測定。

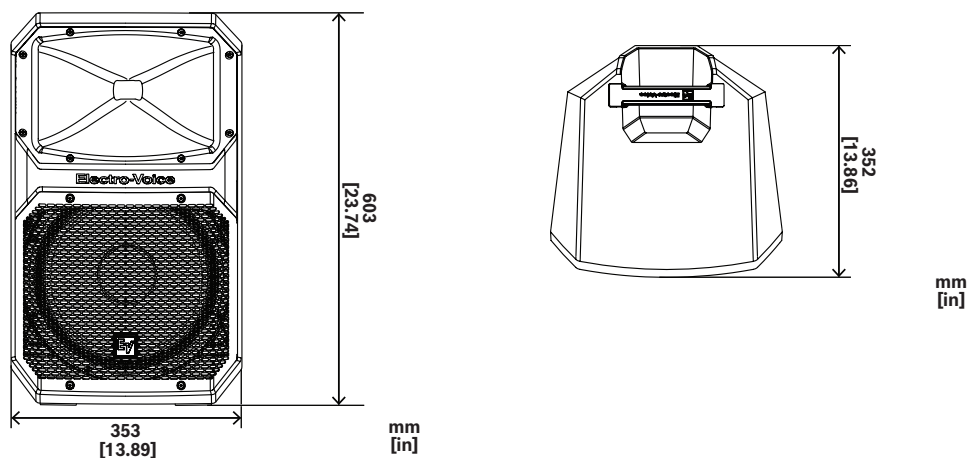
4) 定格電流は 1/8 出力時。

周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	63 Hz – 18,000 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	50 Hz – 20,000 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ^{2,3}	125 dB
角度範囲 HxV (°)	90° x 60°
アンプ定格 (W)	1000 W
消費電力 (V、Hz) ⁴	100 – 240 V~, 50 – 60 Hz、1.0 – 0.5 A
LF トランスデューサーサイズ (in)	12 in
低周波トランスデューサータイプ	WECA2124H ウーファー
LF トランスデューサー用マグネット材	フェライト
HF トランスデューサーサイズ (in)	1 in
高周波トランスデューサータイプ	DENA2504H コンプレッションドライバー
高周波トランスデューサーのダイアフラム材質	チタンコーティング PEI
HF トランスデューサーマグネット材質	ネオジム
クロスオーバー周波数 (kHz)	2.20 kHz
コネクタタイプ	(2) XLR コンボマイク/ライン入力 (1) XLR ミックス出力
筐体	コンポジット
グリルの素材	パウダーコート付き鋼
色	黒
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	603 mm x 353 mm x 352 mm
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	23.74 in x 13.89 in x 13.86 in
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	645 mm x 410 mm x 410 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	25.39 インチ x 16.14 インチ x 16.14 インチ
重量 (kg)	12 kg
重量 (ポンド)	26.50 lb
発送重量 (kg)	15.50 kg
総重量 (ポンド)	34.20 lb

周波数特性



寸法



EVIVA15P

1) MUSIC DSP プリセットを使用したフルスペース測定。

2) LIVE DSP プリセットを使用したフルスペース測定。

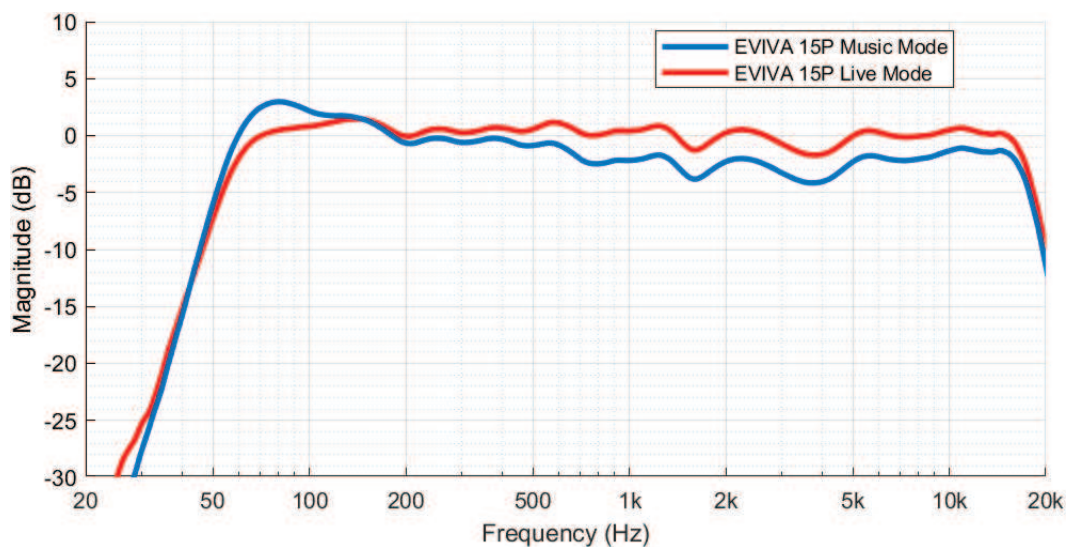
3) 最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1メートル離れた場所で測定。

4) 定格電流は 1/8 出力時。

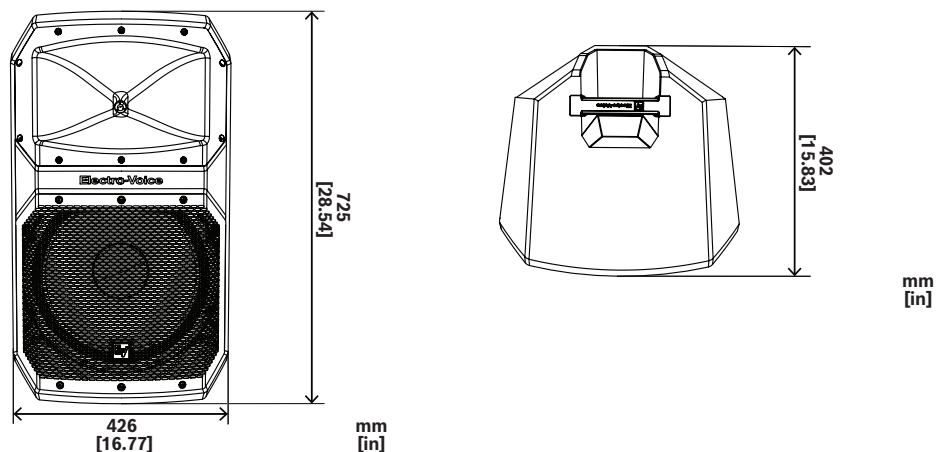
周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	56 Hz – 17,000 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	45 Hz – 20,000 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ^{2,3}	126 dB
角度範囲HxV (°)	90° x 60°
アンプ定格 (W)	1000 W
消費電力 (V、 Hz) ⁴	100 – 240 V~、 50 – 60 Hz、 1.0 – 0.5 A
LF トランスデューサーサイズ (in)	15 in
低周波トランスデューサータイプ	WECA2154H ウーファー

LF トランスデューサー用マグネット材	フェライト
HF トランスデューサーサイズ (in)	1 in
高周波トランスデューサータイプ	DENA2504H コンプレッションドライバー
高周波トランスデューサーのダイアフラム材質	チタンコーティング PEI
HF トランスデューサーマグネット材質	ネオジウム
クロスオーバー周波数 (kHz)	1.90 kHz
コネクタタイプ	(2) XLR コンボマイク/ライン入力 (1) XLR ミックス出力
筐体	コンポジット
グリルの素材	パウダーコート付き鋼
色	黒
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	725 mm x 426 mm x 402 mm
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	28.54 in x 16.77 in x 15.83 in
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	762 mm x 485 mm x 455 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	30.00 インチ x 19.10 インチ x 17.91 インチ
重量 (kg)	14.60 kg
重量 (ポンド)	32.20 lb
発送重量 (kg)	19.50 kg
総重量 (ポンド)	43 lb

周波数特性



寸法



EVIVA18SP

1) MUSIC DSP プリセットを使用したフルスペース測定。

2) LIVE DSP プリセットおよび 150 Hz ローパスを使用したハーフスペース測定。

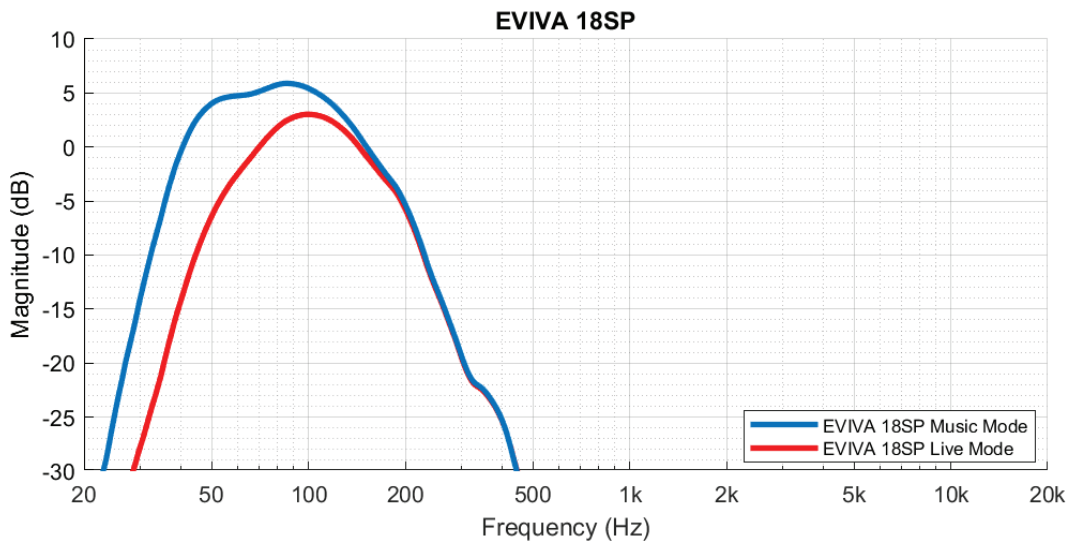
3) 最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1メートル離れた場所で測定。

4) 定格電流は 1/8 出力時。

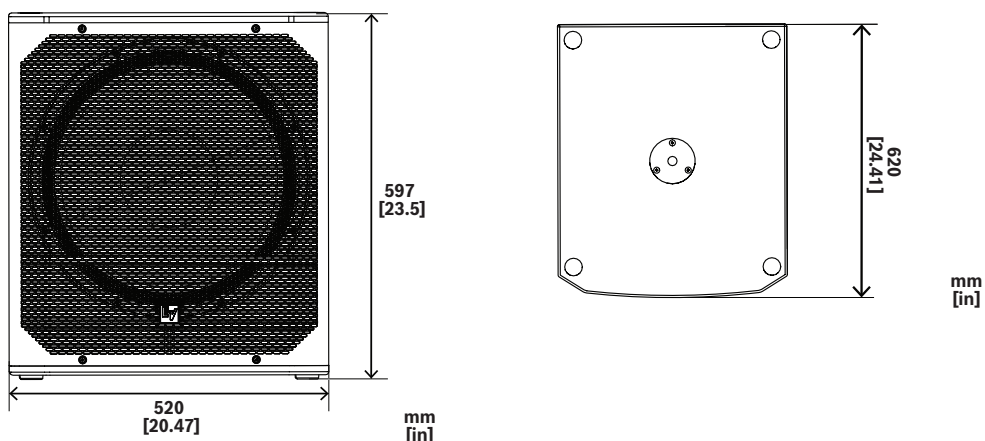
周波数応答 (-3 dB) (Hz) ¹	45 Hz – 150 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (Hz) ¹	38 Hz – 200 Hz
1 m の距離における最大音圧レベル (dB) ^{2,3}	132 dB
アンプ定格 (W)	1000 W
消費電力 (V、 Hz) ⁴	100 – 240 V~, 50 – 60 Hz、 0.6 – 0.4 A
LF トランスデューサーサイズ (in)	18 in
低周波トランスデューサータイプ	WECA2188H ウーファー
LF トランスデューサー用マグネット材	フェライト
クロスオーバー周波数 (Hz)	100 Hz (デフォルト) 150 Hz (オプション)
コネクタタイプ	(2) XLR/TRS コンボジャックライン入力 (2) XLR パススルー出力
筐体	15 mm 合板、内部ブレース、テクスチャーペイント仕上げ
グリルの素材	パウダーコート付き鋼
色	黒
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	597 mm x 520 mm x 620 mm
寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (in)	23.50 in x 20.47 in x 24.41 in
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (mm)	650 mm x 602 mm x 674 mm
梱包の寸法 (高さ x 幅 x 奥行) (インチ)	25.59 インチ x 23.70 インチ x 26.54 インチ

重量 (kg)	30.70 kg
重量 (ポンド)	67.60 lb
発送重量 (kg)	36.90 kg
総重量 (ポンド)	81.30 lb

周波数特性



寸法



12 付録

12.1 保証情報

保証期間とアフターサービスについては、www.electrovoice.com/warranty をご覧ください

12.2 規制情報

12.2.1 オープンソースソフトウェアのライセンス

12.2.1.1 コンポーネントの概要

梱包品	著作権	ライセンス
BP1548C2	Real Time Engineers Ltd.	FreeRTOS V8.0.0

12.2.1.2 ライセンス

FreeRTOS V8.0.0 - Copyright © 2014 Real Time Engineers Ltd.

FreeRTOS のソースコードへのアクセスは <https://www.boschsecurity.com/xc/en/oss/> にあります。

12.2.2 注意事項

著作権および免責事項

All rights reserved.形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Electro-Voiceまでご連絡ください。仕様、データおよび図を含む本マニュアルのすべての内容は、予告なく変更されることがあります。

Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Bosch Security Systems, LLC はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

ラジオ情報

このスピーカーは、7.34 dBm +/- 1 dB EIRP の送信電力で、2.4 GHz の周波数帯域 (2,400 ~ 2,483.5 MHz) の電波を意図的に放射します。このシステムでは、ゲインが 2.43dBi のアンテナを 1 つ使用します。

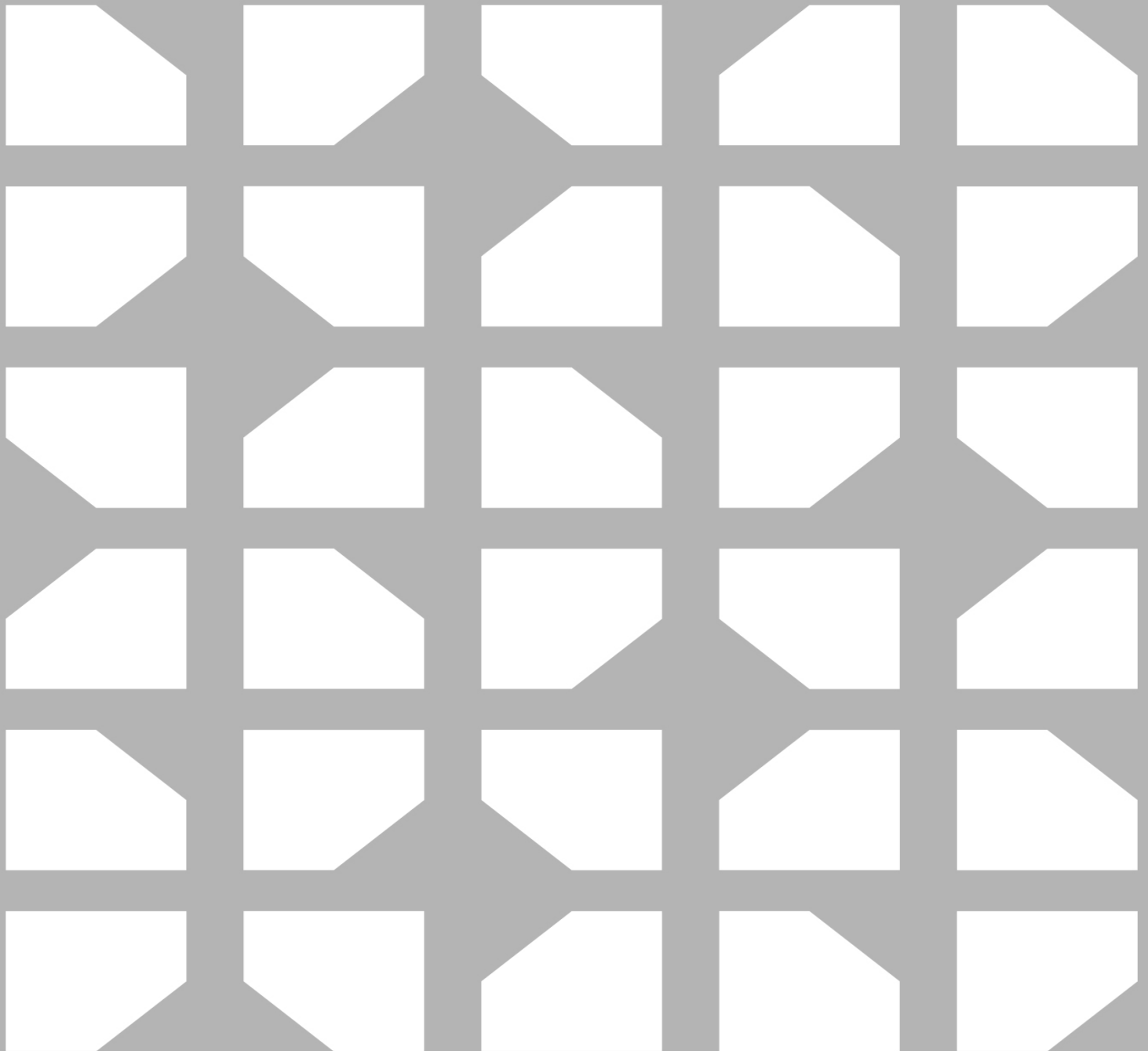
欧州

Bosch Sicherheitssysteme GmbH
Robert-Bosch-Platz 1
70839 Gerlingen
ドイツ

英国

Robert Bosch Ltd.
Broadwater Park
North Orbital Road
Uxbridge UB9 5HJ
英国

廃棄



Bosch Security Systems, LLC

130 Perinton Parkway
Fairport, NY 14450
USA

www.electrovoice.com

© Bosch Security Systems, LLC, 2025

EU importer:

Bosch Sicherheitssysteme GmbH

Robert-Bosch-Platz 1
70839 Gerlingen
Germany

© Bosch Sicherheitssysteme GmbH, 2025

202509011534